

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【公表番号】特表2002-510667(P2002-510667A)

【公表日】平成14年4月9日(2002.4.9)

【出願番号】特願2000-542285(P2000-542285)

【国際特許分類】

C 07 C	57/26	(2006.01)
A 61 K	31/196	(2006.01)
A 61 K	31/203	(2006.01)
A 61 P	35/00	(2006.01)
C 07 C	57/50	(2006.01)
C 07 C	59/72	(2006.01)
C 07 C	233/55	(2006.01)

【F I】

C 07 C	57/26
A 61 K	31/196
A 61 K	31/203
A 61 P	35/00
C 07 C	57/50
C 07 C	59/72
C 07 C	233/55

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月5日(2006.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

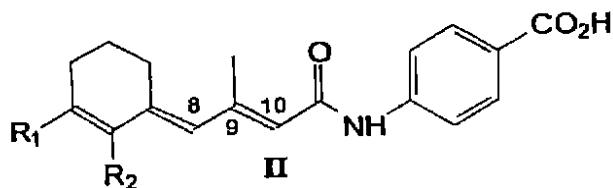
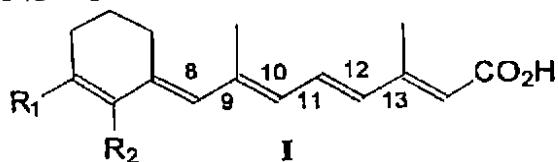
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記構造より成る群から選択される構造を有するレチノイド化合物。

【化1】

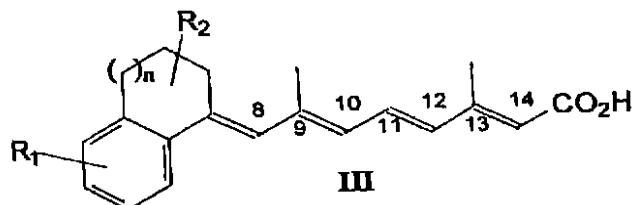
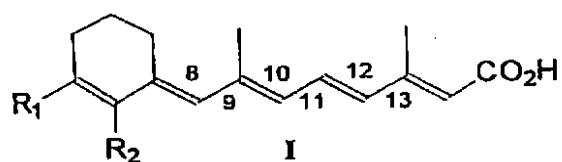


(式中、R₁は、H、エチル、メチル、n-プロピル、i-プロピル、t-ブチル、フェニル、ベンジル、環状アルキル(C₃-C₈)、アリールおよびアリールアルキルより成る群から選択され、そしてR₂は、2-メチルプロピル、n-ブチル、シクロヘキシリル、3-シクロヘキセニル、ベンジル、環状アルキル(C₃-C₈)、およびアリールアルキルより成る群から選択される。)

【請求項 2】

下記構造より成る群から選択される構造を有するレチノイド化合物。

【化 2】

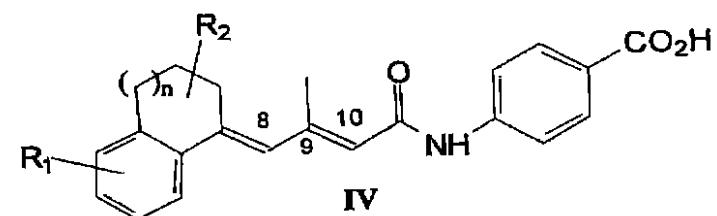
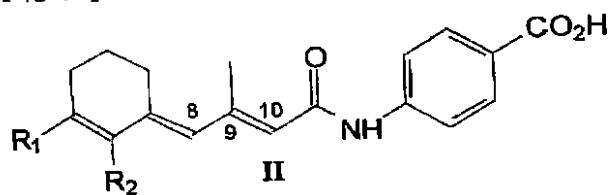


(式中、R₁は、フェニル、ベンジル、環状アルキル(C₃-C₈)、アリールおよびアリールアルキルより成る群から選択され、そしてR₂は、H、エチル、メチル、n-プロピルおよびi-プロピルより成る群から選択される。)

【請求項 3】

下記構造より成る群から選択される構造を有するレチノイド化合物。

【化 3】

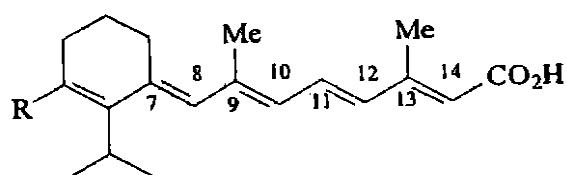


(式中、前記R₁は、アリール環上で1つまたは2つの置換基を表し、そしてH、エチル、メチル、n-プロピル、i-プロピル、t-ブチル、フェニル、ベンジル、クロロ、フルオロ、メトキシ、エトキシ、ベンジルオキシ、環状アルキル(C₁-C₈)、アリール、アリールアルキル、アルキルオキシ、アリールオキシ、アリールアルキルオキシ、およびハロゲンより成る群から選択され、そしてR₂は、H、エチル、メチル、n-プロピル、i-プロピル、2-メチルプロピル、n-ブチル、シクロヘキシリル、3-シクロヘキセニル、ベンジル、メトキシ、エトキシ、ベンジルオキシ、環状アルキル(C₁-C₈)、アリール、アリールアルキル、アルキルオキシ、アリールオキシおよびアリールアルキルオキシより成る群から選択され、そしてn=0-3である。)

【請求項 4】

下記構造を有する、(9Z)-UAB20、(全E)-UAB20、(9Z)-UAB21および(全E)-UAB21より成る群から選択されることを特徴とする請求項1記載のレチノイド化合物。

【化 4】

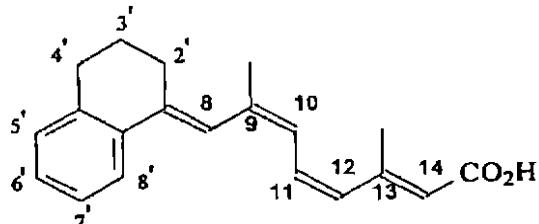


(式中、前記(9Z)-UAB20および(全E)-UAB20は、R₁としてPh基を、そしてR₂として*i*-プロピル基を有し、そして(9Z)-UAB21および(全E)-UAB21は、前記R₁としてCH₂CH(CH₃)₂を、そしてR₂として*i*-プロピル基を有する。)

【請求項5】

下記構造を有する、(9Z)-UAB30、(9Z)-UAB31、(9Z)-UAB32、(9Z)-UAB33、(全E)-UAB33、(9Z)-UAB34、および(9Z)-UAB35：

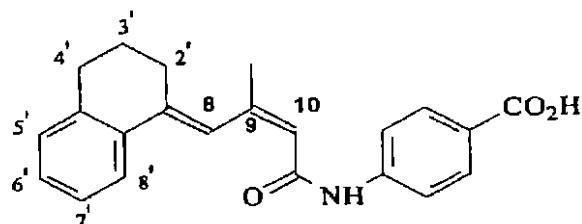
【化5】



(式中、前記(9Z)-UAB30はアリール環上に置換基Hを有し、(9Z)-UAB31はアリール環上に置換基5'-メトキシを有し、(9Z)-UAB32はアリール環上に置換基6'-メトキシを有し、(9Z)-UAB33はアリール環上に置換基7'-メトキシを有し、(全9E)-UAB33はアリール環上に置換基7'-メトキシを有し、(9Z)-UAB34はシクロアルキル環上に置換基4'-メチルを有し、(9Z)-UAB35はアリール環上に2つの置換基5',7'-ジメチルを有する。)；ならびに、

下記構造を有する、(9Z)-UAB60、(9Z)-UAB61および(9Z)-UAB62：

【化6】



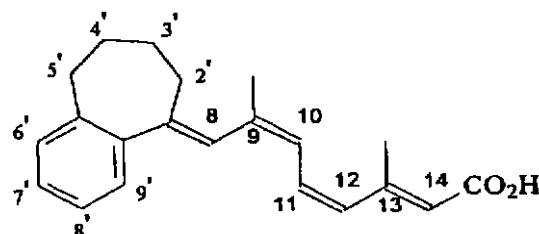
(式中、前記(9Z)-UAB60はアリール環上に置換基Hを有し、(9Z)-UAB61はアリール環上に置換基5'-メトキシを有し、そして(9Z)-UAB62はアリール環上に置換基7'-メトキシを有する。)

よりなる群から選択されることを特徴とする請求項3記載のレチノイド化合物。

【請求項6】

下記構造を有する(9Z)-UAB40であることを特徴とする請求項3記載のレチノイド化合物。

【化7】

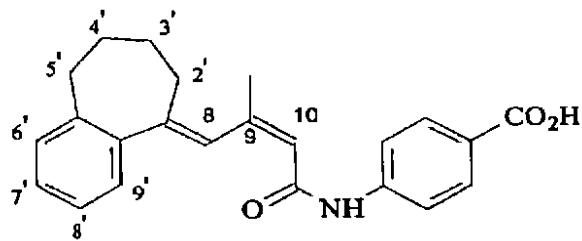


(9Z)-UAB40

【請求項7】

下記構造を有する(9Z)-UAB70であることを特徴とする請求項3記載のレチノイド化合物。

【化8】



(9Z)-UAB70

【請求項8】

UAB8を含有することを特徴とする、新生物形成症状を示す個体を処置するための組成物。

【請求項9】

請求項1から7いずれか1項記載の化合物を含有することを特徴とする、新生物形成症状を示す個体を処置するための組成物。

【請求項10】

請求項1から7いずれか1項記載の化合物を含有することを特徴とする、個体での新生物形成症状の発生を軽減または予防するための組成物。

【請求項11】

UAB8 / 類縁体およびUAB30 / 類縁体より成る群から選択される2または2以上のレチノイド化合物を組み合わせたことを特徴とする、新生物形成症状を示す個体を処置するための組成物。

【請求項12】 前記化合物を、4-ヒドロキシフェニルレチナミドと組み合わせたことを特徴とする請求項8から11いずれか1項記載の組成物。

【請求項13】 前記新生物形成症状が、皮膚癌、胸部癌、膀胱癌、前立腺癌、肺癌、結腸癌および白血病より成る群から選択されることを特徴とする請求項8から12いずれか1項記載の組成物。

【請求項14】

前記化合物が、約10mg/kgから約300mg/kgまでの用量で投与されることを特徴とする請求項8から13いずれか1項記載の組成物。